

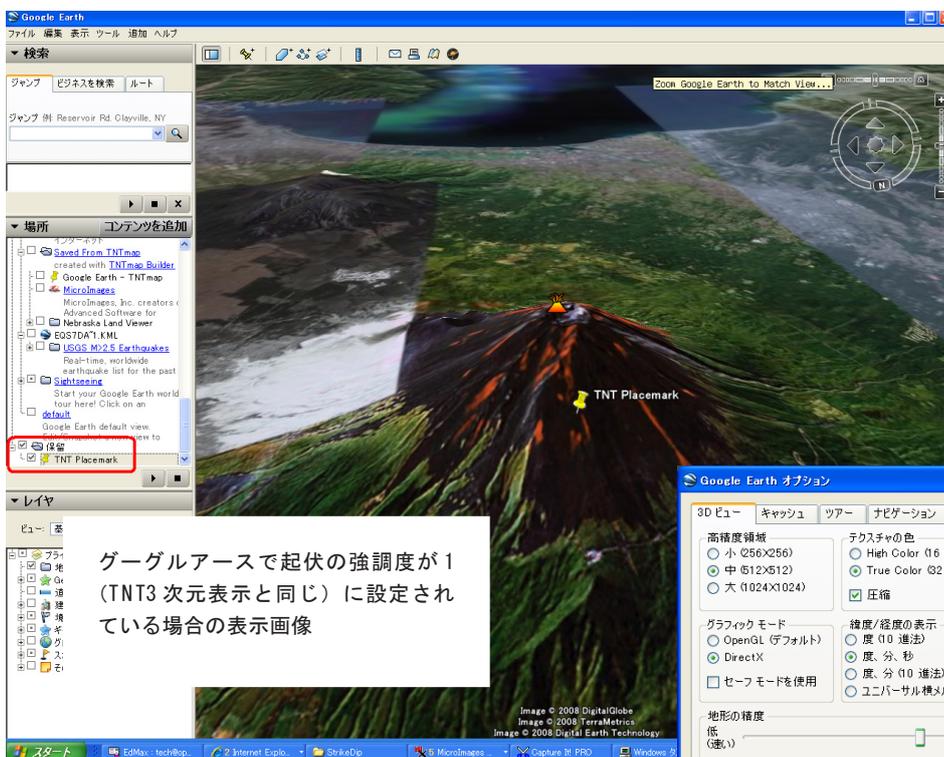
# 3次元表示とグーグルアースの連動



TNT の表示や編集プロセスの表示ウィンドウから Zoom Google Earth to Match View のアイコンを使って、表示画面とグーグルアースを連動させることができます。

このアイコンをクリックすると、グーグルアースが自動的に開き、保留フォルダの中の“TNT Placemark”として TNT で現在 3 次元表示している場所が表示されます。このとき、方向（方角）、伏角（傾き）、見ている人の位置なども同じように表示されますが、垂直方向（起伏）の強調度はグーグルアースの設定から変わらないため、TNT 製品での強調度とは異なる場合があります。

- 2次元表示ウィンドウでこのアイコンを使用したときと同じように、“TNT Placemark”がグーグルアースの保留フォルダのリストの中に表示されます。テクニカルガイドの“System : Zoom Google Earth to Match View”（システム：2次元表示とグーグルアースを連動させよう）を参照してください。
- 画像や図形要素に関する情報はグーグルアースに送られません。画像や重ねるデータをグーグルアースに送るには、レンダリングや KML ファイルへエクスポートしたり、スナップショットを KML ファイルとして保存します。
- グーグルアースの基本画像が前回付け加えたレイヤーとともに表示されます。
- すでにグーグルアースが起動している場合、画面は TNT の 3 次元表示と連動して動き、ズームされます。



〈3次元表示〉ウィンドウの Zoom Google Earth to Match View のアイコンをクリックすると、TNT-mips (上) で表示しているカラーの起伏陰影図ラスタの 3 次元表示が、グーグルアース (左) での表示の位置や方角、傾きなどに連動します。  
起伏の強調度を変えるには、グーグルアースの [ツール] > [オプション] を選択します。(下)

